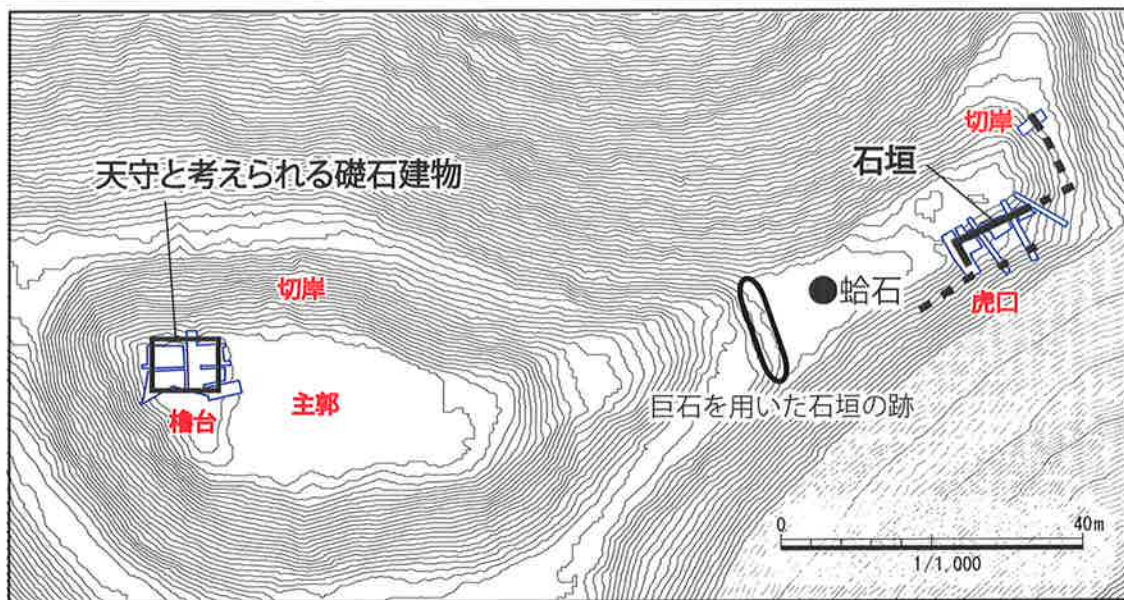


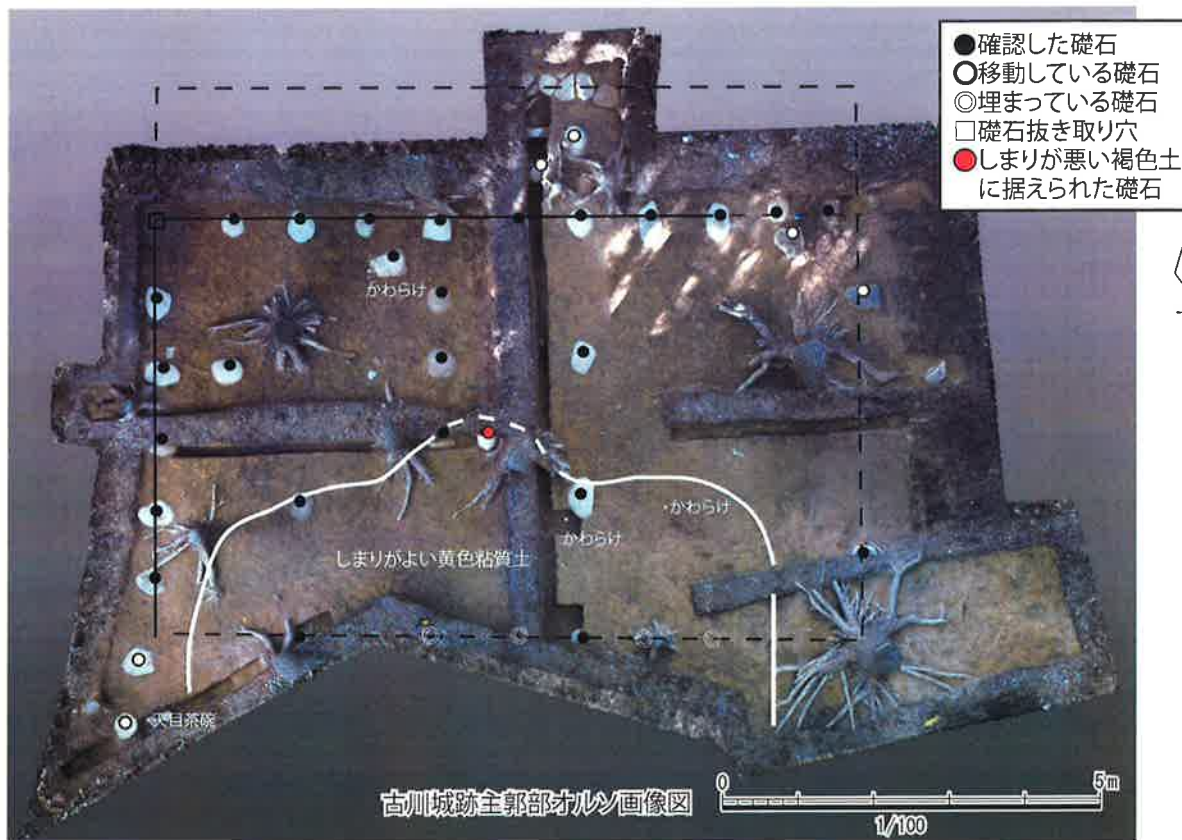
古川城跡 資料

現地説明会





古川城跡調査地点図



古川城跡主郭部オカルツ画像図

古川城跡における試掘確認調査の概要

主郭において礎石建物を、虎口において裏込めを伴う石垣を確認した。これらは金森氏による改修の痕跡と考えられる。主郭の礎石建物は麓の領民に権威を示す天守であった可能性が高く、秀吉による統一政権の象徴的な建物であったと考えられる。

一方で、「かわらけ」（中世の酒器）など姉小路氏が使用したと推定できる遺物も出土した。

これらのことから、今回の調査では、姉小路氏の居城であった古川城跡を、秀吉から命を受けた金森氏が飛騨を平定した際に改修を行って一旦入り、その後で増島城跡に移ったと考えられた。織豊政権にとって新たな領土支配に城郭がいかに重要であったかを示す全国的に貴重な事例と言える。